

開業から 90 年！ 大正から走り続ける「銚子電鉄」を応援！ 「YELL for 鉄道 JAPAN」 第 2 弾スタート

乗り換え案内サービス「駅すぱあと」を開発運営する株式会社ヴァル研究所（本社：東京都、代表取締役：太田 信夫）は、日本の鉄道を応援するプロジェクト「YELL for 鉄道 JAPAN」第2弾を、10月5日より開始します。



「YELL for 鉄道 JAPAN」は、「鉄道が正常に走ることにより、人々の日常が支えられている」という考えのもと、日本の鉄道を応援するプロジェクトです。

第2弾となる今回は「銚子電気鉄道株式会社（以下、銚子電鉄）」を応援します。プロジェクトページにて「シェアボタン」を押していただくと、1シェアにつき5円が支援金として銚子市へ寄付され、「銚子電鉄」の運行支援に活用されます。

プロジェクトページ：https://ekiworld.net/personal/app/eki/campaign/train_pj/

1923 年（大正 12 年）開業の「銚子電鉄」は、2014 年 1 月の脱線事故以来、車両が 4 編成から 3 編成となり、運行本数は 33 往復から 19 往復に減便されています。増便を望む声が多くあるものの、資金不足に苦慮されています。

長年地元の方に愛され、観光名所としても親しまれてきた「銚子電鉄」が、これからも元気に走り続けていけるよう、弊社は「YELL for 鉄道 JAPAN」を通じて支援します。

■ プロジェクト概要

プロジェクト名	「YELL for 鉄道 JAPAN」 第2弾
期間	2015 年 10 月 5 日（月）～2016 年 1 月 5 日（火）
プロジェクトページ	https://ekiworld.net/personal/app/eki/campaign/train_pj/
プロジェクト動画	https://youtu.be/saDPrsAAyqk

■「銚子電鉄」の紹介

「銚子電鉄」は、関東最東端のまち銚子市を走る、全長 6.4km の私鉄電車です。

美しい沿線景色、ユニークな駅舎、銚子電鉄が製造・販売している「ぬれ煎餅」や観音駅の名物「たいやき」など、魅力的な観光名所としても人気の電車です。

1923 年に開業して以来、長い間地元の方から愛され、朝の通勤・通学時には小学生から高校生・通勤する方々の重要な交通手段となっています。

- ・ 銚子電鉄公式ページ：<http://www.choshi-dentetsu.jp/>
- ・ 銚子電鉄オンラインショップ：<http://chodenshop.com/>



↑「銚子電鉄」の写真（撮影：中井精也）

■「YELL for 鉄道 JAPAN」第 1 弾の紹介

前回第 1 弾では、2011 年 7 月新潟・福島豪雨以来運休中の J R 只見線（ただみせん）の復旧に向け募金活動を行いました。

（プロジェクト期間：2015 年 3 月 30 日～6 月 30 日、シェア数：17,188）

第 1 弾のニュースリリース：<http://www.news2u.net/releases/134075>

■ 関連サイト

- ・ 銚子市公式ページ：<http://www.city.choshi.chiba.jp/>
- ・ 鉄道写真家・中井精也氏のブログ：<http://railman.cocolog-nifty.com/>

「犬吠（いぬぼう）」駅舎 2 階には、中井精也氏の「銚子電鉄」写真ギャラリーが設置されています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ヴァル研究所

広報担当・福井

TEL：03-5373-3529

FAX：03-5373-3510

MAIL：pr-office@val.co.jp

※ 記載されている会社名、製品名およびサービス名称は各社の登録商標または商標です。仕様や提供内容については予告なく変更となる場合があります。

【会社概要】

商 号：株式会社ヴァル研究所
資本金：4,100 万円

所在地：東京都杉並区高円寺北 2-3-17
設立日：1976 年 7 月 26 日

代表取締役：太田 信夫
ホームページ：<http://www.val.co.jp/>